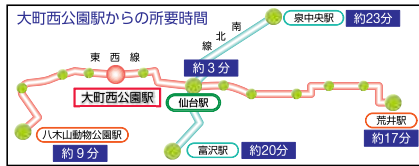


大町西公園駅



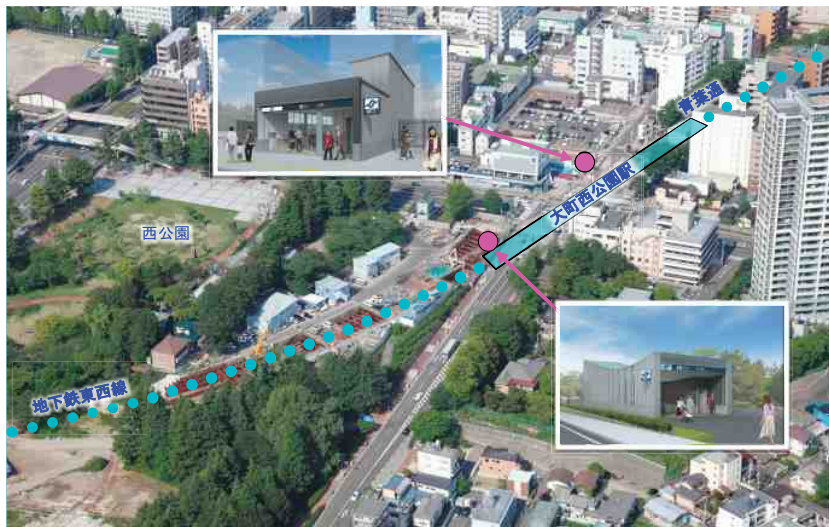
① 駅周辺地区の現況

- 青葉通など幹線道路沿いはマンションやオフィスビルが、その内側には低層住宅が多く立地し、住商複合の市街地を形成しています。
- 駅周辺には、市民に親しまれている西公園や戦災復興記念館等の公共施設が立地するとともに、仙台城跡から延びるかつての大手筋(大町通)や杜の都を象徴する青葉通があります。
- 駅東側の都心地区は商業地域に、西側の広瀬川沿いは第二種住居地域に指定されています。

② まちづくりの目標

藩政時代以来の歴史を活かした賑わいを再生し、多くの人が行き交う街の形成

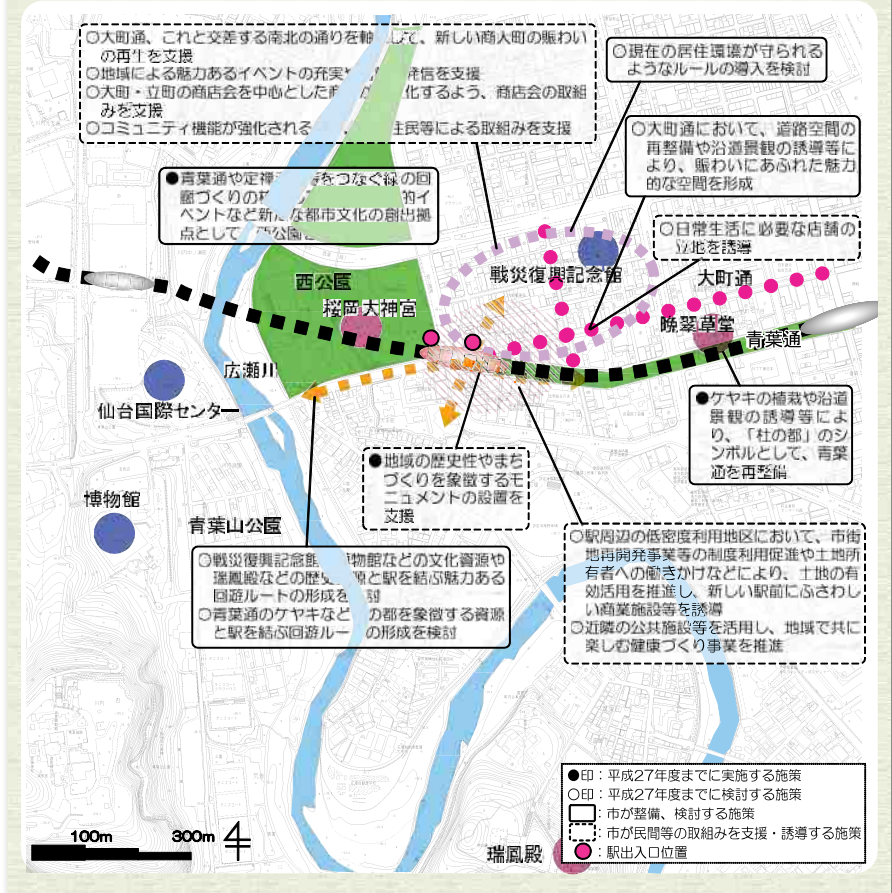
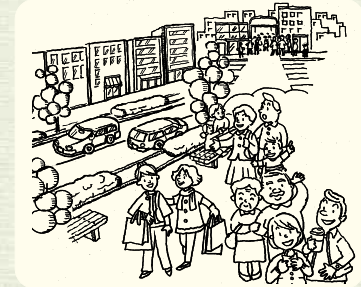
- 格式ある商人町としての歴史や、市民の活動拠点である西公園と都心部をつなぐ位置にあるなどの歴史的・地理的な特徴を活かし、大町通やこれと交差する通りにおいて、新しい商人町としての賑わいを再生することにより、暮らし、観光、イベントなど様々な目的で多くの人が行き交う街の形成を目指します。
- 西公園を青葉山周辺の緑や仙台都心の街路樹をつなぐ市街地の「緑の回廊づくり」の核として、また、青葉通を仙台駅から青葉山につながる緑豊かな「杜の都」のシンボルとして再整備することによって、四季の移ろいが感じられる街の形成を目指します。
- 西公園などを舞台に様々なイベントを行っている地域の活動を活かしてコミュニティを強化し、住む人、訪れる人全てが安全安心に暮らし、活動できる街の形成を目指します。



● : 駅出入口位置

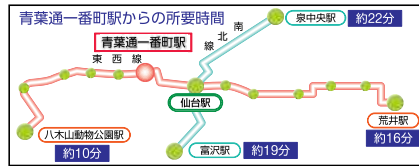
③ 目標の実現に向けた施策

- 新しい商人町としての賑わい軸の形成
- 地域主体のイベント等による活力あるまちづくり
- 駅に隣接する立地条件と良好な眺望を活かした駅前地区の顔づくり
- 商業と居住が調和した安全・安心に暮らせる街の形成
- 仙台を代表する緑空間である西公園、青葉通と連携したまちづくり



- 印: 平成27年度までに実施する施策
- 印: 平成27年度までに検討する施策
- : 市が整備、検討する施策
- : 市が民間等の取組みを支援・誘導する施策
- : 駅出入口位置

青葉通一番町駅



① 駅周辺地区の現況

- 一番町通と青葉通が交差する地点に位置し、商業機能や業務機能が集積しています。
- 駅周辺には仙台を代表する中央通、一番町通の商店街があり、またケヤキ並木の青葉通が駅の東西に伸びています。駅南側には近代建築物が数多く残る東北大学片平キャンパスが立地しています。
- 駅周辺一帯は、容積率が500～600%の商業地域に指定されています。

② まちづくりの目標

多くの人々が集い、回遊する、賑わいに満ちた都心商業空間の形成

- 東西線の開業を活かした駅前地区の再開発事業による集客力のある拠点づくりや商店街と横丁などの連携による奥行きのある商業空間を形成することにより、一番町地区の活性化を図り、県外からも多くの買い物客や観光客が訪れる都心部の機能強化を目指します。
- 青葉通の再整備を進め、駅から西公園、青葉山方面に至る「杜の都」を象徴する緑豊かな歩行環境を形成するとともに、近代建築物が数多く残る片平キャンパスや行政機関が集まる勾当台公園方面と駅をつなぐルート形成し、買い物はもとより、駅を中心として多様な魅力を味わうために多くの来訪者が回遊する街の形成を目指します。



● : 駅出入口位置

③ 目標の実現に向けた施策

- 駅を中心とした魅力ある、厚みを持った商業空間の形成
- 都心の魅力と回遊性を高める交通環境の形成
- 杜の都を象徴する青葉通の再整備と魅力的な街並み景観の形成

